

(様式3)

農業研究成果情報

No. 843 (平成30年5月) 分類コード 02-04 熊本県農林水産部

天草地域の早期水稲後における秋作スイートコーン「ゴールドラッシュ 90」の定植晩限

天草地域において、早期水稲後の秋作スイートコーン「ゴールドラッシュ 90」が安定して収穫できる定植晩限は、9月2日である。9月2日までに定植することで10月中旬までに雄穂が出穂し、11月下旬までに収穫が可能となる。

農業研究センター天草農業研究所 (担当者: 中井 クノ)

研究のねらい

早期水稲栽培地帯である天草地域において、水稲後作として秋作スイートコーンの導入が可能であり、有望品種として「ゴールドラッシュ 90」を選定した(農業研究成果情報 No. 763)。また、雄穂出穂前であれば台風により全株倒伏しても、数日後には生育が回復し、収穫できることを明らかにした(農業研究成果情報 No. 764)。

そこで、「ゴールドラッシュ 90」の栽培体系を確立するために、収穫可能な定植晩限を解明する。

研究の成果

1. 10月15日～10月17日までに雄穂が出穂すれば、11月16日～11月26日までに収穫可能である。8月31日以降の播種では、雄穂が出穂しても収穫に至らない。また、雄穂が出穂しない場合もある(表1)。
2. 10月17日までに雄穂が出穂すれば、出荷に適した雌穂が収穫できる(表2)。
3. 収穫可能な雄穂出穂限界日は10月17日であり、定植から雄穂出穂までの積算温度最大値は1017℃・日である。アメダスデータ(本渡・平年値)を用いて算出すると、9月2日が安定して収穫できる定植晩限である(表1)。

普及上の留意点

1. 本試験は、天草農業研究所内の露地ほ場に白黒ダブルマルチ(白を表面)を展張し、株間30cmで定植した。苗は200穴セルトレイで10日育苗し、本葉が2～3枚展開したものを使用した。
2. 本技術は200穴セル苗を使用すること。育苗期間が10日必要であるため、8月23日までに播種する。
3. 水稲収穫後のほ場準備を速やかに行い、ほ場の周囲に深めの排水溝を掘るなどして排水対策を徹底する。
4. アワノメイガ、オオタバコガの被害が多いため、定植初期からの防除を徹底する。
5. 「ゴールドラッシュ 90」の特性は農業研究成果情報 No. 763 を参照する。

【具体的データ】

No. 843 (平成 30 年 5 月) 分類コード 02-04 熊本県農林水産部

表 1 播種日と定植日が生育に及ぼす影響

年次	播種日 (月/日)	定植日 (月/日)	雄穂 出穂日 (月/日)	雄穂出穂 日数 (日)	収穫日 (月/日)	生育日数 (日)	定植からの積算温度(℃・日)	
							雄穂出穂まで	収穫まで
平成27年	8/17	8/28	10/13	57	11/11	86	1017	1526
	8/21	9/1	10/15	55	11/26	97	957	1681
	8/31	9/11	10/30	60	収穫不能	-	988	-
	9/7	9/17	未出穂	-	収穫不能	-	-	-
平成28年	8/10	8/19	9/25	46	10/19	70	974	1548
	8/22	8/30	10/6	45	11/7	77	942	1563
	8/30	9/9	10/17	48	11/16	78	917	1440
	9/10	9/23	11/7	58	収穫不能	-	948	-

注1) 出穂日は1区10株2反復で8割が出穂した日とした

注2) 生育日数は播種から収穫までの日数

注3) 表中の「-」はデータなしを示す

表 2 播種日が収量と品質に及ぼす影響

調査株数：10株

年次	播種日 (月/日)	定植日 (月/日)	雄穂 出穂日 (月/日)	雌穂重 (g)	収量 (kg/10a)	先端 不稔長 (cm)	糖度 (Brix)
平成27年	8/17	8/28	10/13	402.4	1608	0.0	15.1
	8/21	9/1	10/15	395.1	1579	0.0	16.1
	8/31	9/11	10/30	-	-	-	-
	9/7	9/17	未出穂	-	-	-	-
平成28年	8/10	8/19	9/25	264.1	1055	2.0	16.8
	8/22	8/30	10/6	278.2	1112	0.0	17.2
	8/30	9/9	10/17	258.7	1034	0.0	13.7
	9/10	9/23	11/7	-	-	-	-

注1) 雌穂重は経済連の出荷規格に準じて調整したときの重さ

注2) 収量は1株1本収穫することとして、10a当たり3996株で計算した

注3) 表中の「-」はデータなしを示す